

【同窓会だより 52 回生】

62 回生同窓会報告

矢野 慎輔(62 回生)

秋が深まり山間の木々は一足先に色づき始めた、去る平成 21 年 11 月 7 日(土)、8 日(日)の両日、兵庫県夢前町の民宿「ほたるの里」にて上田幹事のもと 11 名の参加により 62 回生同窓会を開催した。この民宿は夏場にはほたるが飛び交う自然一杯の山間にあり、隣には都会では見られない透き通った溪流がせせらぎ、久しぶりに再会した同志を癒すには絶好の田舎であった。

今回は卒後約 22 年という中途半端な時期ではあるが、前回予定されていた愛媛開催が大元氏の急病にて延期となりました。病状が心配されておりましたが、その



の大元氏が無事復歸されたこともあり快気祝いを兼ねて各地から同志が駆けつけた。この地は車でしかアクセスできない場所にあり、迷いながらも車で最長 9 時間かけて北は長野県、南は愛媛、香川、広島と各地から結集し優秀にもほぼ時間通りに開始することができた。宴会は築 120 年の民家において囲炉裏料理を楽しみながらゆったりとした雰囲気の中で進められた。

部屋に戻ってからも地酒の品評会の如く各自が持ち寄った酒を片手に、すっかり元気になった大元氏を囲みながら、学生時代の話、仕事や趣味、家庭の自慢話に笑い声が深夜の山間にこだました。また次回は京都の地で、一同が元気に会えることを楽しみに同窓会の幕をおろした。帰りにはすぐ近くの雪彦温泉で疲れを癒したり、土産を品定めしながら、おのおの遠路についた。

出席者

井上克二、井上道博、井元信悟、今西康夫、上田恵吾、上田つた子、大元謙二、木口幸利、宮地和明、水野健治、矢野慎輔

以上

* 通巻 195 号 2010 年 4 月 1 日発行(H22 - No.1)より